

一般社団法人日本地質学会2018年度総会

一般社団法人日本地質学会 2018年度総会議事録

以下のとおり、2018年度定時社員総会を開催した。

日時 2018年5月19日（土）13：30～15：30
会場 北とびあ第2研修室（東京都北区王子1-11-1）

- ・総会開催にあたり本日出席の代議員から、議長として早坂康隆代議員を、副議長として道林克禎代議員を選出した。
- ・議長は審議開始に際し、書記として加藤潔代議員ならびに金丸龍夫代議員を指名し、また、同時に議事録署名人として、両名を指名した。
- ・議長は、出席者数を確認し、総会定足数である代議員の過半数56名をこえる出席者があるので成立している旨宣言し、議事に入った。

代議員（=社員）総数 111名、

議決権総数111個。

代議員の出席者数（委任状、議決権行使者含む） 83名、この議決権総数 83個。

出席役員

代表理事（会長）：渡部芳夫

理事：松田博貴（副会長）

理事：天野一男 安藤寿男 市川八州夫 緒方信一 岡田 誠 笠間友博 狩野彰宏 川端清司 清川昌一 小宮 剛 齋藤 眞 坂口有人 佐々木和彦 菖蒲幸男 杉田律子 田村芳彦 田村嘉之 辻森 樹 内藤一樹 中澤 努 仲谷英夫 西 弘嗣 平田大二 廣木義久 福富幹男 星 博幸 保柳康一 向山 栄 矢島道子 山田泰広
以上、理事32名

監事：山本正司 藤本光一郎 以上、監事2名

1号議案 2017年度事業報告・2017年度決算報告

1) 齋藤常務理事から資料に基づき2017年度の事業報告があった。会員の動静、学会運営に関する諸集会及び委員会等の活動、学会の行事・事業についての報告がなされた。

このうち、第124年学術大会2日目については、台風18号の影響による事業や関連行事の中止および代替の特別セッションの編成がなされたことが報告された。本部イベント（街中ジオ散歩、フォトコンテスト関連）、創立125周年記念事業、「地質学者に答えてもらおう」に関する報告もなされた。

また、2017年度内および総会開催の本日までに逝去された（逝去が判明）会員18名（うち名誉会員5名）に対し、黙祷を捧げた。

2) 会計担当の西理事から2017年度決算について報告があった。

2017年度が赤字決算となったこと、収支差額が大きいのは主に125周年記念事業寄付金を2018年度への前受処理にしたことによるとの説明がなされた。

3) 会計監査報告

山本監事より会計監査の実施報告があった。会計は適正に処理されているとの報告があった。会員数の増加が見込めない中、財政を立て直す時期に来ているとの付帯意見があった。

本議案については、特に質疑応答はなく、全会一致で承認された。

2号議案 代議員および理事選挙結果

佐藤選挙管理委員長より、現理事全員が本総会終了と同時に任期満了し退任となるため、代議員および理事選挙を実施した旨と結果報告があった。代議員立候補者全員の無投票当選、代議員からの理事立候補者全員の無投票当選が報告された。

本議案については、全会一致で承認された。

3号議案 2018年度事業計画

渡部会長より、2017年度の本学会の事業成果を踏まえた2018年度の事業計画の基本方針が示された。学術大会における海外5学会（ロンドン、韓国、タイ、モンゴル、台湾）との国際シンポジウムの開催、地質学雑誌125周年記念特集号の刊行推進、地質災害ポータルからの情報発信、普及活動、社会貢献、CPD発行によるサービス強化、「ゆめ基金」助成金事業で進められている小中学生を対象とした教材企画、IGC2024（2024年釜山開催）における巡検準備（大韓地質学会からの要請）などについて述べられた。

本議案については、議決権行使書による保留が1件、議場においては特に反対意見はなく、賛成多数で承認された。

4号議案 2018年度予算案

西理事より2018年度の予算案についての説明がなされた。125周年記念事業に関しては、前受金の収入、当該引当金全額、目的に合った引当金の取り崩しをもって実施することなどが説明された。

本議案については、「法人化後、本会予算と支部予算が統合されたことにより、支部活動の独立性が失われた。支部活動の活性化および独立性を担保する観点から、本会から各

支部に活動資金を配当し、各支部は自由に支部運営を行うことが望ましいと考える。」との議決権行使書による反対意見が1件提出された。これについては、当該科目の収支上マイナス部分は配分云々に関わらず、学会が負担し支部活動を支えていること、また、意見については次期体制でも、検討重ねることとした。

このほか本議案については議決権行使書による保留が1件あったが、議案は賛成多数で承認された。

5号議案 名誉会員の選出

松田委員長より、名誉会員候補者として、坂巻幸雄会員・寺岡易司会員・徳岡隆夫会員の3名の選出および推薦理由の説明がなされた。

本議案について特に質疑応答はなく、全会一致で承認された。

以上をもって審議を終了し、渡部芳夫会長の退任挨拶の後、議長は閉会を宣言した。

2018年5月19日

以上、決議を明確にするためこの議事録を作成し、議長、副議長および出席代議員、理事がこれに記名、押印する。

一般社団法人日本地質学会2018年度総会

総会議長 早坂 康隆
総会副議長 道林 克禎
議事録署名人 加藤 潔
議事録署名人 金丸 龍夫
代表理事 渡部 芳夫
理事 齋藤 眞

2017年度事業経過報告

1. 報告事項

1) 会員の動静

2018年4月末現在の会員は、賛助会員28社、名誉会員55名、正会員3514名（うち院生割引116名、学部割引4名）、会員総数3597名、2017年4月末と比べて58名の減少であり、その内訳は次のとおりである。

入会者：139（賛助 1社、正会員 138名〔うち院生割引 82名、学部割引 12名〕）

退会者：102（賛助 0社、正会員 102名〔うち院生割引 12名、学部割引 0名〕）

除籍者：78（正会員 78名）

逝去者：17（名誉会員 4名、正会員13名）〔名誉会員：相原安津夫（2017/4/30）、